

景況レポート

(6月分・情報連絡員80名)

非製造業で景況感が後退

【概況(全体)】

6月分の県内景況は、前年同月と比較して景況が「好転」したとする向きが13.8%(前回調査10.0%)、「悪化」が40.0%(同36.3%)で、業界全体のDI値は-26.2となり、前月調査と比較し0.1ポイント上回った。

全国及び東北・北海道ブロックとの比較では、本県の景況DI値は、製造業で全国及び東北・北海道ブロックを下回ったことから全体のDI値についても低調に推移した。

【業界別の状況】

業界別では、繊維工業、印刷、商店街及び運輸業などで悪化したとする割合が増加した。一方、食料品の一部や鉄鋼・金属、建設業などで回復傾向が見られたことが全体のDI値に反映する数値となった。

なお、全体の景況感は、為替の円安基調の伴う輸入費用の増大や物価の値上げ動向が進展していることに加えて送料や人件費等の経営コスト上昇にも拍車がかかっており、人手不足や内需不振も緩和される兆しがないことから、中小企業の先行きは依然として注視していく必要がある。

<全国及び東北・北海道ブロックとの景況DI値の比較>

| | 秋田県 | 全 国 | 東北・北海道 |
|-------|-------|-------|--------|
| 全 体 | -26.2 | -18.0 | -24.5 |
| 製 造 業 | -28.1 | -14.3 | -22.0 |
| 非製造業 | -25.0 | -20.9 | -25.9 |

<景況天気図>

| 項目 | 業界の景況 | 売 上 高 | 販 売 価 格 | 取 引 条 件 | 資 金 繰 り | 雇 用 人 員 |
|-------|-------|-------|---------|---------|---------|---------|
| 製 造 業 | | | | | | |
| 非製造業 | | | | | | |

【凡例】 快晴 30以上 晴れ 10以上 30未満 曇り △10以上 △30超 10未満 △10未満 雨 △30超 △10未満 雷雨 △30以下

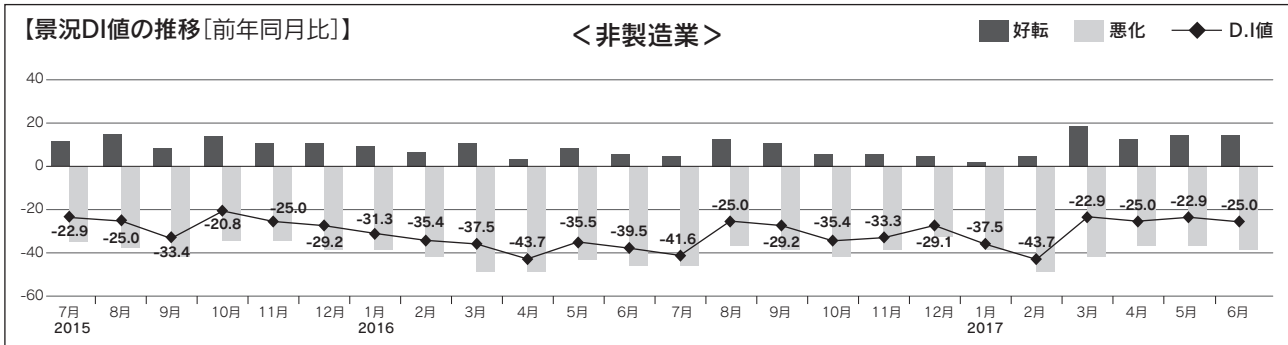
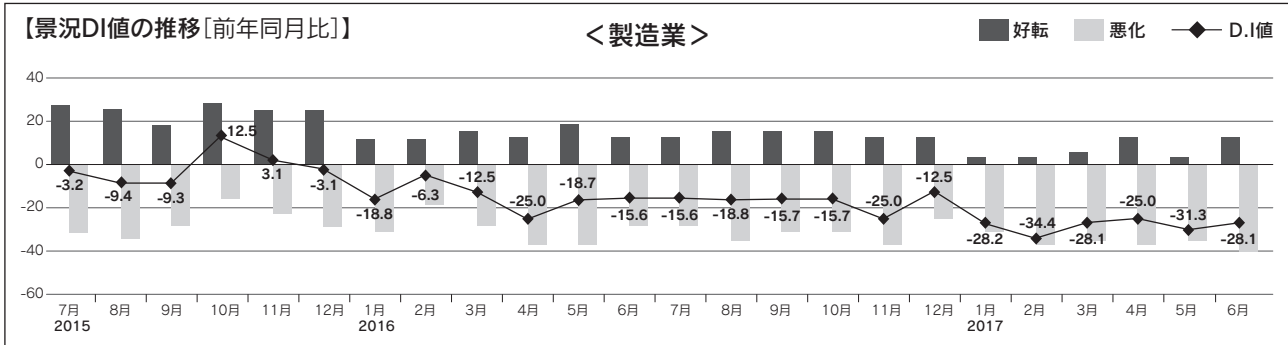
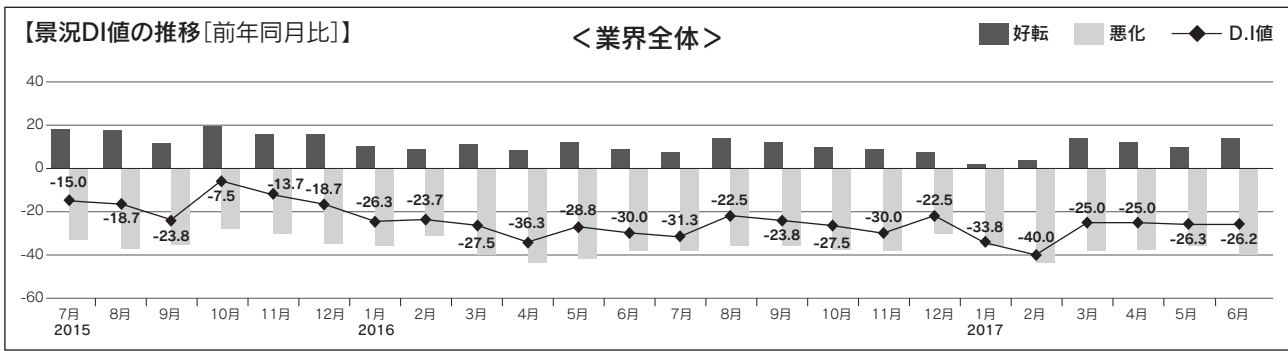
【天気図の見方】 前年同月比のDI値をもとに作成しています。

※DI値とは、Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

【業界の声】 ～製造業～

(回答数：32名 回答率：100%)

| | |
|----------------------|---|
| 食 料 品 (パ ン) | 6月は大きな波も無く、前年並みの売上であった。原材料価格の上昇によりコスト増となることで、収益状況が厳しくなっている。 |
| 食 料 品 (菓 子) | 梅雨に入り、天候不安定のため生和洋菓子は苦戦の季節となり、季節商品の動きも良くなかった。 |
| 織 維 工 業 (ニ ッ ト) | 全般的に前年同月比で低下、減少している。衣料品全体の売れ行きが悪く、アパレル全体が発注量を絞っている。加工賃の交渉も厳しく、待遇改善の原資を稼ぐことが難しい状況である。 |
| 織 維 工 業 (織 維) | 納期の前倒しや小ロット、QR(クイックレスポンス)生産が増加し、生産効率が悪化している。百貨店全体の売上が昨年を下回り、発注が抑えられる傾向にある。 |
| 木材・木製品 (一般製材) | 全国的に荷動きが悪く、県内はアイテムごとの動きに大きな差があり、原木確保が難しい商品については受注しても出荷できないため、苦労している。 |
| 木材・木製品 (外 材) | 秋田港に3ヶ月連続で合板用北洋材3,120m ³ の入港があった。一方、構造用合板やフロア台板等の引き合いは幾分弱まってきている。また、火災で再建した工場の新しい機械に不慣れなこともあって約7割の生産量になっているが、これまでの住宅需要に加え、店舗等の木質化なども増え、在庫不足の展開も予想されることから、在庫量の回復・積み増しを図っている状況である。 |
| 窯業・土石製品 (生コンクリート) | 6月の出荷数量は、前年比102.5%、4月～6月累計で92.8%となった。5月、6月と前年をわずかに上回ったが依然厳しい状況が続いている。特に県内の出荷数量の3割以上を占める県南地区が4月～6月前年比74%と落ち込みが激しい。 |
| 鉄鋼・金属 (機械金属) | 公共工事に加えて民間工事の発注がいくつかあり、前月よりは動きが少しずつ活発になってきているが、前年同期に比べるとまだ回復には至っていない。 |
| 鉄鋼・金属 (鉄 鋼) | 公共工事の見積依頼は出てきているが、発注までには至っていない。民間の物件は徐々に発注されてきているが、全体的には未だ動きが鈍い状態が続いている。 |
| 一 般 機 器 (金属加工) | 受注面は全般的に好調に推移している。原材料の価格は上昇傾向にあり、依然として単価面では厳しく、販売価格への転嫁が課題である。 |



【業界の声】 ～非製造業～

(回答数：48名 回答率：100%)

| | |
|--------------------|---|
| 卸売業 (自動車中古部品) | 6月に入り、アルミの単価が3～5円ダウンしたものの、鉄のトン単価が2回上昇したことで、昨年同月を上回っている。 |
| 小売業 (石油) | ガソリンの小売価格は、1ℓあたり129円80銭で前月比2.8円の値下がり、軽油は1ℓあたり111円40銭で前月比1.0円の値下がり。原油コストが値下がりしたことに伴い、販売価格は値下げとなった。元売大手の仕切価格の動向により、今後とも不透明な状況が続く見込み。 |
| 小売業 (電機) | 前年同月比101%での推移。エアコンが売上に貢献している。テレビの買い替えも増えており、高額な4Kテレビを選択する顧客も増えてきている。 |
| 商店街 | 景況は残念ながら相変わらずであるが、6/30スタートの第6回まちゼミの事前告知が6月当初から始まり、早速問い合わせが続き、地域の関心と期待が感じられる。新規参加店も5店あり、ゼミの内容も充実してきている。(大館市) 4商店街が中心となり、6/5～7/5「得する！湯沢の街のゼミナール」を開催し、各参加店が顧客へアピールをしている。(湯沢市) |
| サービス業 (自動車整備) | 6月の自動車検査台数実績では登録車が9.3%、軽自動車が9.4%それぞれ増加し、全体では前年同月比で9.4%の増加となった。 |
| サービス業 (建築設計) | 市の入札物件が立て続けに公募された。当面抱えている物件の業務があるので予定外の物件ではある。業界での無理をした低価格入札には懸念を抱いている。 |
| 建設業 (管工事) | 市長選のため、工事の発注が例年に比べ、若干遅れている。組合取扱資材売上高は前年同月と比べ伸びていない状況で、工事が発注されれば挽回できるものと期待したい。(中央地区) |
| 建設業 (電気工事) | 民間の物件が著しく減少しており、公共工事もない状態である。本県に限らず、東北は悪い状況にある。(中央地区) |
| その他の非製造業 (砂利採取) | 地熱関連の工事等で生コン用骨材の出荷量が増加したものの、その他の工事が少なく昨年並の荷動きであった。(県南地区) |